

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 篠津運河中流地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（各市町村「田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

江別市 石狩川と野幌原始林とともに豊かな自然の恵みをもたらし、市民の心のよりどころとしての役割を果たしている。地域の自然環境は豊富である。

当別町 当別町の河川はすべて石狩川水系で、最終的に石狩川に流入し海に注がれる景観豊かな町である。

新篠津村 沼や三日月湖ではヤチウグイやエゾトミヨ、ドジョウといった小さな魚が確認されている。篠津運河や防風林沿いにはススキの草原が縦横に規則的に走っている。春になると沼を目指してコハクチョウやガンが渡ってくる。

【課題】

江別市 自然環境は豊富であり、動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り組みことが課題である。

当別町 地域住民のみならず、地域周辺からの外来者などの滞在とあわせた風土に根ざした個性的な環境づくりが課題となっている。

新篠津村 新篠津村は、まさに自然との調和そのもので成り立っており、将来にわたってこれを守っていくために、自然環境との調和、景観への配慮に重点を置いた施策を推進し、村全体で取り組んでいる。

《環境保全の基本的考え方》（各市町村「田園環境整備マスタープラン」より）

江別市 緑地や樹林地、水辺等の自然景観や自然環境の保全に努める。

当別町 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修をめざす。

新篠津村 環境配慮と環境創造の視点を明確にし、農業生産の場が即ち環境創造の場でもあるといえるように貴重な環境資源との調和に特に留意する。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

- 調査位置の考え方
本地区の整備対象施設の多くは道路沿いに位置し、一部区間が防風林に隣接する。このため、道路沿い及び防風林沿いを整備ルートとする南美原導水路を地区の代表路線として調査を実施する。
- 調査項目の考え方
既往調査結果の活用を基本とする。
調査の行われていない植物について現地調査を実施する。

《環境調査内容》

- 調査項目 植物
- 調査方法 植 物 : 植物相調査